



第 39 回世界トランポリン競技選手権大会 日本代表選考方法

2026 年 11 月 5 日～11 月 8 日 中国・南京

<男子トランポリン>

【選考大会】

第一次選考会と最終選考会の 2 回の選考会にて日本代表を選出する

- ※ **第一次選考会:**「第 13 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会」
(5 月 16 日～17 日: ヤマト市民体育館前橋 オープンカテゴリー)
- ※ **最終選考会:**「第 39 回世界トランポリン競技選手権大会 日本代表最終選考会」
(6 月 13 日～14 日: 国立スポーツ科学センター)

【選考方法】日本代表選出最大 6 名

第一次選考会及び最終選考会とも**決勝順位上位者から選出する**(決勝進出者は 8 名)。ただし、派遣標準得点を超過していることを条件とする(個人競技)

1. 第一次選考会: 最大 2 名内定

- ① 本選考会上位 2 名の選手を日本代表内定とする
 - ※同点の場合、FIG タイブ레이크・ルールを用いる
 - ※決勝、FIG タイブ레이크・ルールで同着の場合は予選順位の上位者を上位とする
- ② 最終選考会進出者は 1 位～13 位の選手(内定者含)と協会推薦者 3 名とする
 - 推薦対象者は、第一次選考会終了時点のナショナル強化認定選手とする(SA/S/A カテゴリー)
 - ※同点の場合、FIG タイブ레이크・ルールを用いる
 - ※FIG タイブ레이크・ルールで同着の場合は予選演技 2 本の合計得点が高い選手を上位者とする
 - 推薦対象者がいない場合、順位通り最大 16 名の選手(内定者含)が最終選考会に進出する
- ③ 最終選考会出場のリザーブ選手は 2 名とし、最終選考会進出者が棄権した場合は順位に従い出場機会を与える

2. 最終選考会: 最大 4 名内定

- ※第一次選考会の内定者を除く
- ※第一次選考会で内定者が 1 名の場合は 5 名。内定者がいない場合は 6 名。
- ① 本選考会の上位 4 名の選手を日本代表内定とする
 - ※同点の場合、FIG タイブ레이크・ルールを用いる
 - ※決勝、FIG タイブ레이크・ルールで同着の場合は予選順位の上位者を上位とする
- ② 日本代表選考順位において、1～4 位の選手は個人競技の代表とし、5～6 位の選手をシンクロナイズド競技の代表及び個人競技のリザーブ選手とする
 - ※シンクロナイズド競技の代表については派遣標準得点を適用しない
 - ※日本代表選手が棄権した場合、日本代表選考順位から順位に従って繰り上げる(世界選手権大会事前合宿を目途として)
- ③ リザーブ選手が繰り上げて個人競技に出場する場合は派遣標準得点を適用しない

個人競技派遣標準得点	56.00 点
------------	---------

3. その他

- ① シンクロナイズド、およびミックスシンクロのペアは強化本部にて協議し決定する
- ② 個人競技の試技順については、日本代表選考順位に基づき上位から優先して選択できる。ただし、強化本部で協議し最終決定する

<女子トランポリン>

【選考大会】

第一次選考会と最終選考会の2回の選考会にて日本代表を選出する

- ※ **第一次選考会:**「第13回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会」
(5月16日～17日: ヤマト市民体育館前橋 オープンカテゴリー)
- ※ **最終選考会:**「第39回世界トランポリン競技選手権大会 日本代表最終選考会」
(6月13日～14日: 国立スポーツ科学センター)

【選考方法】日本代表選出最大6名

1. 第一次選考会: 最大2名内定

予選演技得点(2本の自由演技を行い、どちらか得点の高い方を採用する)と決勝演技得点の合計得点で順位を決定する(決勝進出は8名)

- ① 第一次選考会1位と2位は日本代表内定選手とする
- ② 下記の派遣標準得点をクリアしていない場合は内定しない
- ③ 最終選考会進出者は1位～13位の選手と協会推薦者3名とする(16名)
- ④ 第一次選考会結果が同点の場合は、決勝得点の高い選手を上位者とする。それでも同点の場合は、決勝演技をタイブレイクのルールに従って順位付けする
- ⑤ 最終選考会推薦対象者はナショナル強化選手とする(第一次選考会終了時点のSA/S/Aカテゴリー保持者)
- ⑥ 推薦対象者がいない場合は、順位通りの選手が最終選考会に進出する
- ⑦ 最終選考会出場のリザーブ選手は2名までとする

2. 最終選考会

予選演技得点(2本の自由演技を行い、どちらか得点の高い方を採用する)と決勝演技得点の合計得点で順位を決定する(決勝進出は8名)

- ① 最終選考会1位～4位(第一次選考会内定者を除く上位4名)を日本代表内定選手とする。第一次選考会で内定者がいない場合は最終選考会1位～6位、内定者が1名の場合は1位～5位
- ② 最終選考会結果が同点の場合は、決勝得点の高い選手を上位者とする。それでも同点の場合は、決勝演技をタイブレイクのルールに従って順位付けする
- ③ 日本代表選考順位の1～4位は個人競技の代表とする。5位と6位の選手はシンクロナイズド競技の代表、および個人競技の補欠とする
- ④ 派遣標準得点に達していない選手(個人競技)は派遣を見送るものとする(シンクロ代表は除く)。ただし、補欠選手が繰り上げで個人競技に出場する場合は派遣標準得点を適用しない
- ⑤ シンクロナイズドペア、およびミックスシンクロペアは強化本部にて協議し決定する
- ⑥ 個人競技の世界選手権における試技順選択は日本代表選考順位に基づき上位から優先する。ただし、強化本部で協議し最終決定する

派遣標準得点 - 予選決勝合計得点	106.00点
-------------------	---------